府下延久町上延久六四二
争議團員　久米明　当廿年
府下王寺町上十條一四三一　川船方
〃　西原幸作　当廿二年
京橋区築地個圖一三　森方
〃　武田貞雄　当廿六年
右三名ハ検束ノ上取調中ナリ
状況前叙ノ如ク不穏ノ行動アルニ付警戒中
右及申（通）報候也

「前報第三二〇一号第五報トアルハ第五報ノ誤」

別記一

争議日報
No.9
1930.7.11
建築金物商会争議團本部 発行

何のためにダンツは逃げたか？

七月七日午前十時交渉に行つた所が工場の中に居る筈のダンツが當権を何某か公然と話して居るから二ゲ去つた。この実事で今迄の争議団に対する会社の態度は偽大を共謀してやつた事がハッキリ示された。そのくせダンツの×ロー交渉委員に面会し無い態度を頼して居る。指導部では種々と共議した結果今日より積極的行動を開始する事に決定。員はいつでも指導部の命に従つて動く様に準備して置け

會社の名でおどかす
郵便物や印刷物におどろくな！

争議が持久戦になると、カイトクは会社の名を利用して種々の事をやる、その手に[illegible]

吾等の結束はなぜかたいか？

争議団本部が二回迄解散を小西長始め各班長がドシドシ検束さ示ろが、吾々の陣営はビクともせず益々鉄の結束を見るのは何の原因であるか。言ふ迄もなく団員の結束力と共に争議団は指導部の指令に死を持って附る勇気があるからだ。今後も此の大規的勇気をより以上たかめ指令を何處迄も有効たらしめて、今後[illegible]の人々にも手本を示す様にせよ!!

マンガ